

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



※掲載情報は9月24日現在です。

おめでとう

全国道場少年剣道選手権大会出場

#057 Sei Ueda

上田 星 さん

比布中央学校 6年生

—— 広報ぴっぷ 2026年4月号で紹介

比布中央学校6年生の上田星さんは6月14日、苫小牧市で開催された、「第50回記念北海道道場少年剣道大会」小学生女子の部に出場し、全道各地から選抜された75人の選手の頂点に輝き、全国大会への出場を決めました。全道大会での優勝は、比布町剣道スポーツ少年団にとって、初めての快挙となります。

「最も印象に残っているのは準決勝。一番良い試合ができた」と振り返る上田さん。相手に一本も取られないこともなく、自分から有効打突（一本）を二本先取する「二本勝ち」で決勝戦に進出しました。決勝は延長戦にもつれ込む接戦となりましたが、最後は得意の小手で勝負を決めました。優勝が決まった瞬間は「あまり信じられなくて、実感がなかった」と話します。

上田さんが試合で大切にしているのは、「気持ちで負けないこと」。指導する先生も「かなりの負けず嫌」と評します。8月2日に札幌市で開催された、「第68回赤胴少年剣道錬成大会」では、全道各地区の予選を勝ち上がった小学生162名の代表選手が出場する個人戦で3位入賞。先に一本を取られても、そこから取り返そうと勝負に向かう気持ちの強さが上田さんの持ち味です。

得意技は、相手が打ってくるところを狙う小手。決勝でもその小手が勝利につながりました。最近はその練習にも力を入れており、「面も得意になってきた」と成長を感じています。

剣道を始めたのは1年生の時。友達が習っていたことをきっかけに「自分もやってみよう」と始め、稽古を重ねながら力を伸ばしてきました。

指導者が課題として挙げるのが初戦の入り方。緊張から動きが固くなることがあり、普段通りの力を最初から出すことを意識しているとのこと。

10月25日に岩手県花巻市で開催される全国道場少年剣道選手権大会第43回小学生女子の部。個人での出場は初めてです。

「緊張するけど、しっかりと自分の剣道をして、なるべく上位を目指して頑張りたい」と上田さん。目標は3勝以上、そして上位入賞。得意の小手と持ち前の気持ちの強さを武器に、北海道の代表として全国大会に挑みます。



6月14日(左) 表彰の様子

(右) 第50回記念北海道道場少年剣道大会の様子